

事務事業名		碓氷海岸観光案内所開設事業			<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成13 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興				
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実				
根拠法令					予算科目 会計 款 項 目 事業 01 07 01 04 07	
所属	部課名	商工港湾部商業観光課				
	係名	観光物産係	電話	27-3111		
			内線	117		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市観光物産協会に委託し、碓氷海岸内に観光案内所を開設して、案内者(上半期2名、下半期1名)を常駐させ、碓氷海岸の現地案内や宿泊施設の紹介、市の観光案内、観光客の動態調査等を行う事業。主な業務は、①仕様書の作成、②観光物産協会との委託契約締結、③実績報告書の受取、履行確認、④委託費の支払い。 事業費は、委託先(観光物産協会)への委託料として支出される。					全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
					総投入量 (千円)	事業費 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0
						人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0
						トータルコスト(A)+(B) 0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 大船渡市観光物産協会に委託し、碓氷海岸内に観光案内所を開設して、案内者(上半期2名、下半期1名)を常駐させ、碓氷海岸の現地案内や宿泊施設の紹介、市の観光案内、観光客の動態調査等を行った。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 延べ開設日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 延べ開設日数	日	イ		ウ	
名称	単位								
ア 延べ開設日数	日								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 直接対象: 大船渡市観光物産協会(案内者) 間接対象: 碓氷海岸を訪れる観光客	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 大船渡市観光物産協会職員数(案内者)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 碓氷海岸観光客数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 大船渡市観光物産協会職員数(案内者)	人	キ 碓氷海岸観光客数	人	ク	
名称	単位								
カ 大船渡市観光物産協会職員数(案内者)	人								
キ 碓氷海岸観光客数	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 碓氷海岸を訪れた観光客に碓氷海岸の現地案内や宿泊施設の紹介、市の観光案内等、きめ細かなサービスを提供してもらい、観光案内所を利用してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 案内件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 案内件数	件	シ		ス	
名称	単位								
サ 案内件数	件								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) ①大船渡市を訪れる ②魅力がPRされ、認知度が高まる。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>年度</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td rowspan="6">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>1,980</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>1,980</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>2,012</td> <td>2,032</td> <td>2,032</td> <td>2,032</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>日</td> <td></td> <td>387</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>500,000</td> <td>700,000</td> <td>900,000</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>660</td> <td>2,000</td> <td>3,000</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)			単位							投入量	事業費	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	0	1,980	2,000	2,000	2,000	事業費計(A)	千円	0	1,980	2,000	2,000	2,000	人件費	正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	0	8	8	8	8	人件費計(B)	千円	0	32	32	32	32	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	2,012	2,032	2,032	2,032	⑤活動指標	ア	日		387	400	400	400	イ							ウ							⑥対象指標	カ	人	0	2	2	2	2	キ	人	0	500,000	700,000	900,000	1,000,000	ク							⑦成果指標	サ	件	0	660	2,000	3,000	4,000	シ							ス						
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																						
		単位																																																																																																																																																												
投入量	事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																											
		都道府県支出金	千円																																																																																																																																																											
		地方債	千円																																																																																																																																																											
		その他	千円																																																																																																																																																											
		一般財源	千円	0	1,980	2,000	2,000	2,000																																																																																																																																																						
		事業費計(A)	千円	0	1,980	2,000	2,000	2,000																																																																																																																																																						
人件費	正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1																																																																																																																																																							
	延べ業務時間	時間	0	8	8	8	8																																																																																																																																																							
	人件費計(B)	千円	0	32	32	32	32																																																																																																																																																							
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	2,012	2,032	2,032	2,032																																																																																																																																																							
⑤活動指標	ア	日		387	400	400	400																																																																																																																																																							
	イ																																																																																																																																																													
	ウ																																																																																																																																																													
⑥対象指標	カ	人	0	2	2	2	2																																																																																																																																																							
	キ	人	0	500,000	700,000	900,000	1,000,000																																																																																																																																																							
	ク																																																																																																																																																													
⑦成果指標	サ	件	0	660	2,000	3,000	4,000																																																																																																																																																							
	シ																																																																																																																																																													
	ス																																																																																																																																																													

事務事業ID	0445	事務事業名	碓石海岸観光案内所開設事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	碓石海岸を訪れた観光客に碓石海岸の現地案内や宿泊施設の紹介、市の観光案内等、きめ細かなサービスを提供するため、平成13年度から案内所を開設した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	長引く景気の低迷から入込観光客数が減少している。 平成13年から15年までは岩手県の緊急地域雇用創出特別基金事業を利用していたが、16年度には市単独の緊急雇用分として実施し、17年からは緊急雇用も外れた。 平成24年度の機構改革により部課名が商工観光部商工観光物産課から商工港湾部商業観光課に変更となった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	夜間の民宿・観光案内の窓口の設置や観光ガイド受付をしてほしいとの意見が観光客等から寄せられた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 大船渡市を代表する景勝地である碓石海岸には市内で最も観光施設が集積しており、当市の入込観光客の半数以上が訪れている。碓石海岸に観光案内所を設置して観光客に対するきめ細かなサービスを提供することによって、再び訪れたい、または、訪れてみたいと思ってもらうことに結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 利用料等による収入は一切なく、事業費を回収できないため、民間による実施は困難であり、公共の関与が必要となる。観光客が増えて宿泊や観光消費額が増えることによって、経済波及効果が期待できるため、市が関わる事は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は必ずしも限定する必要はないが、大船渡市観光物産協会は公共的団体であり、行政や経済産業団体が構成員となっていることから、官民一体となった観光物産振興策によって碓石海岸の利用上の効果が高められる。開設時間の延長等によって意図の拡充が図られるが、財政的事情からも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 長引く景気の低迷から入りこみ観光客数が減少しており、観光客に対するきめ細かなサービスを提供して誘客促進に努力はしているが、成果には直結しない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 観光地としてのイメージがダウンし、入込観光客数の減少に拍車をかける。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 案内所に常駐する必要があることから他に方法はなく、統廃合はできない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の削減が成果の低下に直結する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 100%アウトソーシングしているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ サービスの提供を求める全ての観光客に対して、可能な範囲で対応している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>情報を求める観光客に対するサービスの提供を行う業務であり、効率は低いとしても見直しの余地はなく、適切な業務運営が図られている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>東日本大震災後、観光客数が回復傾向にあることから、大船渡市を訪れるまたは訪れたい観光客に対して、きめ細かなサービスを提供し、より良い観光窓口として機能するよう運営する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商業観光課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>適切な事務執行がなされている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現在、環境省が碓氷海岸に建設中のインフォメーションセンターの管理業務との事業統合・連携を検討する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 政策推進会議等での指摘事項</p>
